ル 3
8423

門 ル3
號 3423
巻

五月の風行樹に枝と鳴ぞ十里に雨驛路の
砂と流さとかさする御代乃広庭に下れ
蒲の葉高そのしも花菖蒲
ほとゝぎす聞はゞ花ちる盗賊
花もれと嘆へ蛙助をゝ成八方ふ備へ
稼げ〻要脚に用と足桂杓ふれ〻て茶表
紙の小冊を袖童に神ふ〻て行程と書を
文人のこゝろ文なり梓に鏤て深海乃乃
鄙ひなを弟子する此書へ十脇とおり人寄る徒ら

慶應大學図書
31.1.31
購入

あれど蒲鉾の名よろしくを伯夷はあらざれど
行ふ海ぞ面白の鰹鱠と松江の鱸とうたはれ
ぬかふ程でい川この瀬も若狭より深く流るゝ
ひかれひまわりて交毎とかよ下ふ玉澤の回
りの名代なつてよ行程を回て流れ出る中泥乃
嘉ひあるとなく出馬出るこの名ぞの場と不くよ
考て此編とあるを畑辞ようへ部よ進へ後ふ挙て
初旅の人よ取敢ず驛の餞ふをあんうしとよ
こと後やめて序ース

霞林堂新版

延享三歳次丙寅仲秋上浣

凡例

一

此冊ハ東海乃初旅の人ふ益あるよと表として文と餞ず
紙と常ひて漢よ倭ようの名所を出ふと
神社佛閣回跡の来由名所の沿革ふと紀て皆くれ休憩とと
一宿次同屋の名みハ行程ふ留ることを乃中泥の反ひよ
遠ひ名をとキ不くみて表く改め細ふ伝て見て泥ス
一路中川く多ーとハとど出ふふく後の留べき川ふ
△ふ市ふて森面大面の慮わんこと泥ス
出馬出かこのあるなれ場乃不式ハ路のしるべ

一　名物の処所々の茶屋ふ合すのことをあつかるハ
　　宿駅の饑渇かゝんの用ふ備ふ

一　海道より他方への別れ道ゝ所ゝ坂道
　　伊豆ハ海の物川波の新と退んぐゝ宿ゝて
　　ちゝふを伊勢路ゝ宮の張人の又安ゝんぐゝあ
　　宮市の躍ゝ伊勢の山田までの往来賑ゝ
　　名所あゝと粗記て来に所ふ新と乙ゝ
一　江戸より京までの本道ハ無ゝ所ゝ
　　中仙道ハ宮ゝ或ハ大津より大坂ゝの往来ふ来ゝ後ふ
　　附録ゝのこ
　　○下りの宿ゝハ逆ゝ初めゝ記ゝ

○東海道神奈川鉾　東ゝ下り ふ右と西ゝ名所ゝ記ふ右と西ゝ

日本橋　ゝ川ゝ

二里

大伝馬町　本馬　九十四文
南伝馬町　荷駄　十一文
　　人足　四十七文

ゝ橋ゝ千二百九十橋のうゝ右西の方沖ゝ流ゝ
ゝ橋ゝ二百九十橋　日本橋ゝ四十丁　○京橋中橋ゝ二丁　○新橋京橋ゝ八丁　○源助橋新橋ゝ四丁
○宇田川橋源助橋ゝ二丁ゝ　ゝ合板橋ゝ　ゝ橋ゝ　ゝ橋ゝ
○合板橋　○芝橋　○札の辻芝橋ゝ○右ゝ大神宮ゝ　ゝ

品川ゝ

二里ゝ

川ゝ　向　五万五千軒
　　在　名所ゝ海　百十四文
　　ゝ　七十三文
　　人　六十六文

山ゟ大ごう川ださかどゝ申のうそはゝ付よりて○町の右西
東海道。御殿山と申る○右西の森八まん宮北門・さいたんの小夜
ばきとゝ申し町池上町○大りうゝ
山ゝ麦ゝ
○六郷の川渡舟賃ちん町人八十文ゝ
舟まのりて八十二文ゝ

川崎　宿　二つゝま　戸数　一　人　家　百十四文　七十三文　六十六文

○市場村○箱根ゝ山と申る○右西ゝ

○かまゞさ○こやと○たり海ゞ沿ゝと申る○新宿

神奈川　宿　九丁　同　長右衛門　家　十文　二十三文　人　六十文

宿の人ゝ茶やゝ
茶の茶やゝ海道ゝ
ゝきたこゝりあ
ゝ
ゝ
ゝ

以前町かくひ一宿と云大ぐ（家）町ごとの不（西）
以宿ごとに小食ぶてくみ見ものろくとの石山坂と宿とゞ出ル
かゞ西○坂の下○中村町・見ぬ坂と云○ゑ方の坂ひとく
相模のさうの杭たりふ西（右西北）○うゞ宿のはふ橋西○九（南東）西中ふ
かまてくへ行たゝ見ものろ寄ゞ有ますて二つ

戸塚ふぢ沢へ

二里　同　長谷湯

一	人	八十六文
	外	五十八文
	内	四十四文

見ものろ藤さとの石ゝ寄ゝ石ゝ見ものろ
戸つゝ丸義八幡町とふ右（北西）松山の中ゝ八まんの社あり○京の宿

たりよりあてくゝ山五縄の城ゝ有くゝ（一ケ余あり）山ゝ敵乃勇ゝ出ゝ

藤沢ひらつゝへ

三里ます　同　七郎右衛門

	外	百六十文
	内	百五文
	人	七十八文

見ものゝ江ゝ出ゝ見ものゝ見ものゝ見ものゝ
ものゝ丸つゝたりの方ゝ小の鴨ゝ芝ゝ見ものゝ見ものゝ十町之
宿の入口小道場坂○右（北西）ゝ遊行上人の寺ゝ見ものゝ池ゝ小栗判官ゝ
石塔ゝ○右（北西）ゝ藤ゝ○ゝ見ものゝ○ゝ見ものゝ宿之右ゝ大山不動ゝ行乃ゝ
見ものゝ見ものゝ見ものゝ見ものゝ砂地○こうゝ○辻堂○
南口○なんご茶屋ゝ見ものゝ（ゝ小ゝ見ものゝ）見ものゝ（ゝ小ゝ見ものゝ）○中堂

▲弓八川あり〜あらん町人拾人ゆ○八幡村（たかはたうの社八社山ゆ西）

家　三十四文
かず　廿三文
人　七八文

平塚大いそへ　九七町

同　源左衛門

いせ宿なめごふりゆ九ゆ○花水川橋あり○山下の宿花長者屋〜きれ松あり山ゆ長ぐじまち虎ゆ前なり○十間坂

家　百八十二文
かず　百九四文
人　九十六文

大磯小田原へ　四里

同　長左衛門

一

見ゆ小田原とゆるゆ〜かごもあるゆ〜ゆるゆ〜ゆ〜ゆ〜

山ゐのぶつ外郭と云と町の四ふすづゝの橋あり○町はづれ西
○板橋北荒井○かぶと祭右の山と云川あり橋二ヶ所ふ山橋つゝ
右の方こうの沢の口あり○湯ゝ湯なり北西右蘇村温泉あり
○畑茶あり○さいら○かのふ
○むこと沢茶あり○大さと○畑茶あり○白みず坂○右よ
坂ぜんるのうとうとうづしよ○落ぜと○白みず坂○右よ
こゝ山こゆる○右こえと糸橋沢への口ぜゝる山橋沢七ヶ宿
宿板あまこゝ中小と宗近の左カ七サ三尺ゝす清府の左カ
長葉の左カ七サ三尺赤木のさまゞ対宗もそまゝ
さけこと夜光の玉○駒の角○九穴の貝○蔵の玉○天の羽衣
ありゝ

時ゝ自然れ狀ふこと〳〵〳〵〳〵○さいのくとう
右よ村づ沼○ゝ海○沖関沖番所

猪根ゝ海

糸高三百北八寸　同　糸高　平奥つ　本宮ゝ　下り谷三百四十五文
ゝ三百十二文　三俵ゝ二百五十六文　人番ゝ　弐百ゝ文

さいのくとうこゝ下りこゝれたくこゝ
食地沢山ゝ宿寄ゝ
あしこゝごゝどゝ外ゝこゝ○町の内左り御殿ゝ○町は
伊豆ゝこのさうゝ○枝子町○かぶと石坂○石ゝ坂
加茂茶坂○山中茶ゝ三俵ゝ三百○七坂○下七坂

○大ちがき○けら原○三つ屋○熱海（あたみ）村

三島（みしま）宿（しゅく）

利左衛門　家数（いえかず）　六十八軒　人数（にんずう）　四十四人　三十四人

此宿（このしゅく）は東海道（とうかいどう）の右（みぎ）に有（あり）大明神（だいみょうじん）の社（やしろ）當社（とうしゃ）は伊豆（いず）国（こく）の惣鎮守（そうちんじゅ）にて祭礼（さいれい）は三月（さんがつ）十日（とうか）なり○宿（しゅく）の右（みぎ）の方（かた）に流（ながれ）れ来（きた）る細（ほそ）き川（かわ）にて橋（はし）なし○宿（しゅく）の左（ひだり）の方（かた）に流（ながれ）れ来（きた）る

はるかに水をこるふのうてはうごもあり○そうれ海ぐ水こ
あぐ水とぐろこのぐ六丁と二里とて東西三十丁といふ
いづまぢやうれのくとそこれ風みて神ふなここれ海ぐ原
あくれ実ぢこゆくあのくわふひとも〜かとむうれ海ぐ水
○呂病右ふいうころ山こゆろ山富士のあよこてふいのこ称ふ
富士の後ふ出現山ふ仏ごとそ新ふもふて入据ぐ山ふるもふ
○相原　小に富士のふりこ
東西二ろきこ大ぬまあ原やふうるぎれぐあれうふ海あり
○富士山まこふ三国双の名山也　あぬ称く人のころうるれべ
そのあるこころうこだ
附ちぬ山わこぎれこ月まて雪あ海〜れこ山ぬん

富士の根ふふりとて雪八月の十五日ふこへて十五日見てかうり
詩も海洞漁浸半邊影多吹漁舟載雪行
○右ふここふ海西○大野新田○元右ふ今井村橋あり

右原かん原
三つ屋　同　伊左清
ひろうん原ふこうごはこるはあづ川のこてここうては荻川こまかう
○町数ふ六つ○うふいい川橋あ○元市場つまこ
○屋ぐさ○ゆれ木▲あづ川こかてこ流れ水ケこ
あぬん町人八十六ふつ大ろうこ海ぐ一ふ海ぐ上へまろれい出い出別

山ふもとより川原へ出る川だにこうりのこのわもこのあもこのあもこのあ
○赤岩や実相寺のあり○水神の森○岩ぶち右ようの延山
ゆくりの○沖の山六本松右ようの○山ぶあげの濱たり竹

蒲原（うんだら）　ゆいへ（ゆい）

そ里　同　又四郎　　か　四十四文
　　う　三十文
　　人　弐文

そうゆ井と所はぐくるふりの地蔵ぶ宿くづまさ蒲原
食のあたふさらみもの先こうりゆいへらさ和ちや
餐ゐと四ふ乃うらふうら出て乃れでさるゆばそ
○赤面の濱ゆて塩ゆく○むろ○あぐ○せきさ

由井（ゆい）　おさらへ

二里十二丁　同　三浦郡一　　か　百六十二文
　　う　六十文
　　人　七十九文

そこのあおさはたかごりそは○中ぶ川ぶり○寺尾
山ろさんさ坂山ゆ昔八坂の九山右へ海ゆそ右ようづ九
と通ろりるふあ濱ぶ通ぶ行へ法を出つとこそ山ゆよおや
ちゃぶそちゃぶと名つく的歴の比山と切て今ゆ乃へ出来ろう
そうげふ○て沢とゆふさでい坪ゆて鮮新おりびゆ食へ
山ふと紙ゆきさたどとゆ猿へ乃ゆたどとそのゆる○神ゆ洞
▲おさは川ぶちりつゆ山ゆの附へ川ろうみ

須澤しゅく

武蔵国

長さ二丁　同　十軒ばかり　家　四十七文　人　三十二文　九二文

もがいちとちとちとしとわたりハ海みひろたく（右ハ長山組）

風景おのづからふうけいなり清水んが宮とのあるあり

ときとしハよりきよみ見が関乃波乃あつかすそこのあり三保ばら流

○町の右ハ清見寺みきよみ巨敷鼠山と名付ける内名木ハ梅乃木ハ七乃

北西

しゅく寺の縁ふちハ富士あるうち三保の松原田子浦などゑ乃

門あこがうもん　黄水みきみめぐりてゆみ乃ゆきとしろ（一）よこさろ

○九うちりハ山ふかあり　○いかホりハ海ほりハ九ましまし海あり

江尻ふちうへ

長さ二丁　同　家　五十七軒　人　百五十七文　九十八文

もとより府中をのろ出るハ海ときハ（ハ）くどふのりてゆ

町の門に橋あり○九り清水の舟宿ハ（ハ）○三保の松原ハ（ハ）

○九りよりハ紙山ハ一つとぐろ森より久能ハ（ハ）

○上原　○右の田ハ中ふ

うぐら池○茶畑の茶あり○右田○あり沢○ろろ稲ぶ

傍○右ハ大里山○海ぐるとろ稲○あと田右ハ清水山

鈴高寺あり

府中　南ゆとこへ

長さ二里半　同　家　八十二文　人　五十三文　四十二文

是より國の府く○右御城○町お紙ろくやどさいく
宿のかしらく久能のれんへ乃ゐ口月十七日ゑ法人の素行をゆるす
▲安倍川ろわらう太郎ゑ者る川およ名物の餅又ゑれの
川うちん付きあそる下ゑ川
あべの市とゑ家へ江戸辺のうなちへ○しずの紙子名物ゑ
○右ゑ未拾の森ゑある名所○ゑ越前の名ある拾ゑ
大ゑ人家ゑり出る○さくら

丸子 おうだ

武里　同　七百ゑ　百軒ゑ
ゑ　ゑ　九千ゑ
ゑ　人　七十　ゑ

ひるるうつのやゑ坂ゑ名ちうべ左かごゑのりてゑ○金山ゑ名ちうべ
此宿のえんぎゑ名ちうべ○まりこ川橋ゑ○おこめ川

○宇津ゑのうつのやゑけりゑ坂ゑ○花ぞう堂
○九ゑ名ちうべのゑ乃今ゑ坂ゑ○国ゑ名

岩淵 えんぎ

里　同　百軒ゑ　七十九ゑ
十六丁　ゑ　ゑ
久ゑ云清　人　ゑ十一ゑ
三十九ゑ

ひるゑ茶ゑ名ちうべ○ゑ井川橋ゑ○かりやど○ちん清
○水守○わらゑ名ちうべ○ゑ家つぎ○九ゑ田中村
御成乃とゑ松ゑやーゑ○ゑ東ゑの橋といふゑ名ゑあり

藤枝 ふじえだ

二里八丁　同　清義　百九十七ゑ
ゑ　ゑ　八十ゑ
人　ゑ十九ゑ

はりまちこと石ばかりにて長のいてむ
○はりまはの名物とあ飯とそ飯小判のとくみつろて
○せと川わたり○ちこ東一町ばかり右に海面が劉み○あ
さ

鴻田かみや へ

長四里　同　六郷云清　なし　百九十四文
うち　七十七文
人　五十八文

はるも石ばかりにて長いてむ○中海○八会山和ってみこ海岸と
▲大井川はしゆ川ちちん元下み後ばかれ出みこ川小ちる
南へ分ってみ水上信州より出て川下ちこと入る
遠州とのさかいこみかこ風あ入みちまに西風こへみおつる

金谷ゆつ坂へ

北十二丁　同　五郷云清　なし　百十八文
うち　九文
人　十四文

はるにつさち山坂ちかどみのくそよ○坂のよみまちこみ東町
○右小城ちこ○西南　三刀川ゆちる南へ小谷ちこ○山ばかこ
茶屋ちこ茶屋ちこ○ちん元の根張ちこ○右小ちこ間ちこ
寺ちこ○小夜ちゆ山ちこ○小夜ちゆ山ちこ
八ちう孫打小ちこ○夜帰石海中ちこ○御厨ちこ○新田

同坂川へ

きり　九十九丁　同　清云　なし　二百五十文
十ちこ清　うち　六十一文
人　四十文

なし　八十二文
うち　五十二文
人　四十二文

名こゝろけ川をよこさろこ山宿の名物さゝび餅○右の
○はんでら山○なご橋○ぬり川○ゑ孫川○なべ川

掛川ふくろ井

十六丁　同　惣石高　家数　人　本陣　脇本陣　旅籠
百十二文　七十文　五十五文

山ろかごおのりはふくろのこゝをゝ九ろこ宿の西右ゝ城○宿ゝ
餅もそゞ切もゝ秋ゝ松たけ多ゝ○うつゝさ見ごゝさと織ゝ
あゝ尾池ゝ入口ゝ橋ゝ秋ゝ茶山ゝ九ろゝ○沢田
○綱○ろ川右ゝ浅間の社○ゝ川べ○吉川
花ごゝ出ゝ○英名見ゝんの又ぬゝ名ゝ見ゝ九ゝ○七つ茶

袋井

十五丁　同　惣石高　家数　人　本陣　脇本陣　旅籠
九百九十文　八十文　三百文

山ろこゝ九こ宿中ゝ茶やゝろくゝ○所の口ゝ橋ゝ○木ゝ
○西橋○ろゝ井ゝ橋七ろ○右ゝ云坂ゝの細ろゝ
○大ゝ○三ゝ松○見付の茶○路ゝさゝれゝ橋ゝ

見付

十四丁　同　惣石高　家数　人　本陣　脇本陣　旅籠
二百ゝ十四文　百ゝ十一文　百十七文

見ゝろ天ゝ川ゝ天ゝ川ゝ川ゝこゝるゝごゝは山ゝ宿の坂下ゝそゞ切ゝ
家ゝて天ゝ川ゝこゝ歩行ゝそゝ山ゝろゝ○右ゝ八橋ゝ

○中いづこ御殿ヶ○天の一ろ○池田の嶽 [illegible]

○[illegible]川 一名十文字せゝ合て [illegible]

○安乃坂 [illegible]

○[illegible]

○ろ〜場 右こゝ [illegible]

○る迦川 格子 黄八丈

家数 百七拾文
人 七十九人
女 六十一人

濱松 [illegible]坂 [illegible]十二丁 同

もろ〜坂 [illegible]

○森林 ○[illegible]

○[illegible]

○つゞ井

舞坂 [illegible]

海上 [illegible]也

前坂 [illegible]

[illegible]

[illegible]

[

須賀川へ　同　長谷清水寺・観音堂・猫ヶ石湯　十七丁　本　六十七文　ろ　四十八文　人　三十三文

いろはこぶ山ころ○石ふみ師山名○さい宮○猫ヶ石湯
いわ名ろ○ろの橋小橋ろ三河の堂江の坂なり

二川へ　同　桧原集　二丁　本　七十三文　ろ　四十七文　人　三十六文

○はこやまとの山名○かつ沢○大いな昔大きな
二宮ろ○ろ宮年一宮ろ○出の方を○天神坂
茶やろ○いひな石石屋山○二連木○浜倉川小川之

吉田へ　二りゆき　同　弘法ろ　ん吉　本　百十八文　ろ　七十六文　人　五十七文

町の右の方に坂ろ山高くふりくちろ名地ろこのところ
ゆきあとりこりて代ろ三ちん一紙ろ○吉田の橋長サ百九尺
あ上伝馬ろ○ふ川ろ伝馬川さ長ろ弁ル小ろ
○下地○名田○ろや○小坂井○三日市○桜町
本紙ろ茶ろ玄松原茶やろ○一の茶斗ゆとろ○赤坂村

渥美へ　ふ五丁　十六丁　同　あろ坂へ　本　二十六文　ろ　十六文　人　十二文

いたるあーのみち○右は赤坂道のみち○こゆ川○赤坂郷の名所

赤坂道へ　二里九丁　同　弥左衛門・利左衛門　本　百七戸　六十八文　五十一文　人

もとゆうじ川を渡りしるうとふのりてー○武家ふ

拝女多ー○長沢なる沢○右ふた坂ゆみち○山中○

二村山は不法義寺とゆふ浄土宗のるみ門あれみはるまの

は寺宝物ゆとのぞあべ　門あつ沢ちんぢゆ○業平木

板川おうぐ沢へ　七丁　同　三左衛門　源義経　与兵衛　本　七十八戸　五十一戸　三十九戸　人

もとうあつ湯を渡りー○是の郷　右大ぐ村。坂湯村

ちは村。酒井村○九ゆ沢村○大平村川ゆ橋○ぐ沢

是湯ちゆうへ　三里十丁　同　元左衛門　与次左衛門　元兵衛　本　百七十五戸　百十六戸　人　八十六戸

もとうちゆうへとちもきろぐるふのりてー○松平ふ

三里ぐろふ赤ゆみ○○九ゆ坂みち○松葉川橋ゆ

右坂のゆみぐべて武辺と是世の宮とゆふ名所○ゆ

○矢橋の橋　武ハ二百八万七千石九十六万。

なるゆ沢橋ゆ世坂橋ゆ

ゆうゆ法橋ゆ業やみ　めうそぐ　もとちゆうとのりてー

○大樹寺より海左宗の大さるまで○夫ゝ子の宿のたゝま
海道横切前の石橋の西やゝ北右の方に雄敦の宮あり云
○あやゝぎ○うゝ坂町○尾張の○大浜茶やあ
食もうどんあり○今村茶やあり山きのたゝり八の橋八ツ橋
○西面成ハ牛田海乃野原と毎年四月三日より
五月五日ゝ牛ゝの市ゝ○たゝ竹岩の城ゝあり

池鯉鮒宿二里 九九丁 同 市ゝ 妙七寺 ゝ 百九十九文 八十二文 六十一文

そうりあゝとゝるゝとよゝ方ゝめゝ通あり○右猿投社

ゝ

ゝ

ゝ

観音の木像あり　○戸数百五十戸あり　○宮川あり

宮川へ　海上七里五度

同　伊勢　津藩

舟ちんを人お　四十文
あど付・同り
のり合あり　六十四文

熟田大明神大社　○宮出町　○右は津藩の家町の南にあり
○沖黄新　此よりのり　○名古屋城　この町今は八百五十町
○七里の渡し　海　木之川のあづまとなりあり　此所出れば
此所出やまし　此所はきし　此所へ　此所の方へ　此所
○此所　此所　此所　此所　此所　此所　此所　此所
○まんどころ　此所　此所　此所　此所　此所　此所　此所

のりあり　○宮川　木之川のあづまの下　○宮あり　二百五十五文
かりの此所へ　此所へ　此所へ　此所へ　此所へ　此所へ
さやうまつと　此所へ　此所へ　此所へ　此所へ　此所へ
此所へ　此所へ　此所へ　此所へ　此所へ　此所へ　此所へ

桑名

此日市へ　三里八丁

同　津藩　伊勢

百五十一文
九十四文
七十三文

人

此所へ　此所へ　此所へ　此所へ　此所へ　此所へ
○此所の方へ　此所へ　此所へ　此所へ　此所へ　此所へ
此所へ　此所へ　此所へ　此所へ　此所へ　此所へ　此所へ

○おふけ○から村○あるけもさて中ろ右ろ○まつる○東
福田氏の名地弘法ふもとぐまし一蛤くれたるをみて蛤を
焼風俗もてなす○神祭○ろろ川橋

江田市 ふゆし

二里半 九丁 同 元右ろ 小右ろ

家	百九七戸	
人	八十一戸	六十一戸

此のあるくふのりてうし○史蹟ろ右ろの名地
右ろうた紅場ろ氏ふ宮又ハ名ふ三弁よのる○墳
田江田市の○赤ゆり村右ろ浦田ハ城弘ろ○日永村右ろ
○近分東海ろし○街ハ伊勢ろ侍勢ろ氏ろ

此ふ又ふんぢうろ○おこそ村○う孫ゆ町○つえ
ゆき坂茶屋 ○小宮村○大宮村○まろみ茶屋 山の内 茶屋

石人 せうの

五十七丁 同 元右ろ 市右ろ

家	三十四戸	
人	六十三戸	十八戸

此ろのろちし○右ろ市殿ろ○町の口右の坂ハ下ふ
ゆし堂ろ氏ふ名ふ文武天皇の氏ふ氏ハ一つの石あて
常ふ光明寺くろ人ふ右ろ氏山中ハ右ろ
右ろふ又ハ右の右徳泰澄ふ右ろ氏ハ金輪隆ろ生
生ろ菊西石ふ右ろ則氏石とりて薬師ハ右ろ像

時刻を知つてとこ城下貴さ貴化之ゆへなとす○うるき町

庄野うあ山へ

二里　同　家　八十六文
人　四十四文

此方のろるおのうては此ホの名物庄野儀ちいさいとうまあとあと入る
○川みとうろ○そうが○東富田ゆば下
○中富田○泉川七十万○小田村九海苔る特産白米
○河合村河合川○ろる北村町のにうろ右よ
うあ山の城こゆう○新町

亀山せ沢へ

三里半　同　ろる長清　家　六十九文
又ろ里へ　人　四十四文
三十四文

此方の路ちゝ○町の右小城の大ようろ○野尻
のんこ茶屋ちゝ○おちろう村○ろうし田
○関川ろう○小野村○関への入口ホ素富の乃き

関さろ北下へ

三里半　同　久塞へ　家　百十七文
人　七十三文
五十六文

此るの路ちゝ北ホ之猪野と北ホ山ろ
宿の門の茶やよ食物さあくみ宿場よ西移るとうぬめ
いまのちゝ北ろうり山ろ峠ろう峠捨ふうくろ
苦山ホよみゝとこ右の方ホ一ろうて美とゆ文
ゆへホ今も関といふこと

町の内より若竹とぐろにて史繩と作り奏拍○ぐと紙のろ
長さ伴ゆ繩りを
自然へゆく雅而之○宿のたりより美の地蔵堂ろ首一体和尚山ゆと
逆り物の○附用眼とをられど△釈迦いろ之くいすぐ出ぬすの
つるほうに同あ〜め地蔵と唱へのとろや○湯杖が里る○一の
沢川下と八十沢川とゆ○背ろけ○新茶屋
古家多くあり

坂の下つち山へ

二里ず

同 家数清 本 二百九十九文 内 百六十九文
俗称 加 百三十六文 坂の下へ 百十七文
孫九郎 人 百十七文 人 八十二文

○宿の内に橋二ゆ之ゆ宿むゝ〜坂下の川ぞとよあり〜
いろまぐろ山出かご沢ゆろ之ろぞぐ〜ゆ茶やの食物多〜

芝安年中大ろ出ぞ人家とあり〜ろ〜ろ実に極坂の上十町余
○坂のとりはた北条大明神の社る○三つ子山○峠 俗名石地蔵
○皆掛川 鼻川 右よ名井る正一位田村大明神く頭る宮やわ
坂のよふる○ぬ茶や○鱸ぐ坂○白川橋○いくの茶屋

つち山へ

二りず 七丁

同 家数清 本 百九十七文
平茶屋 人 八十一文
六十一文

いろのろてるぞことよのりてよう〜山ゆろ多賀へ十丁○外の宿
川橋 松の尾川と云○平之野の○岩むろ○猿茶○大野○今宿
○いか川ゆろかげ法ぐよわひあとよ○さと村○新元村

水口へ　三里八丁　同　仁右衛門　家一　百四十六文
人　九十一文
七十文

○たよ城ゑ○小銀○いろこ○ゑこ田川ゑ○田川
そろてん名物餅もゑさこ川とゑ○こ○ゑこ○ゑ村○ひ〜松○かう〜袋○白新川
○なろこ

石部へ　三里　同　頓宮　内　家一　百四十文
奥宮　勢人　八十八文
六十九文

此辺のたう〜○たゝの村ちそう○梅の木山和中散

草津へ　三里十二丁　同　義右衛門　家一　百六十六文
平右衛門　百十文
ゑこ三郎
子右衛門　人　八十ゑ文

そろ川わう○札の辻右ゑ乃ゑ法路木ゑ路海乃ゑ追分
○矢倉町中仙乃と東海乃とのゑれなる故追分たり
名物のあ角ゑ名物うぐい餅ゑ○竹のむち
餅やぎせうゑ大ゑ横ゑ〜ゑ〜ゑ〜ゑ○野路の宿名物
おろ十ぜんちのゑ。ちのゑの里乃松ゑ〜ゑ〜ゑ

黄蘗の根ゑゑ○ゑ乃ゑ村ゑゑゑ川と○まゝ村○山
ぢ村川つゝの地ゑゑゑ○のと袋○めうゑ名物めゝ〜でんくゑ

○右は月の橋ゝ池あり○かゝ本原まつの入口ゝ[illegible]
○尾張あゝらの茶屋あり○安土町 [illegible] 町 ○ 野田 [illegible]
小橋 [illegible] 川上とも云 飛とゝ[illegible]
右は石山右は三上山かゞゝ山あり[illegible]
[illegible] 神の社にて三上山の麓と云橋のよこ[illegible]
村 [illegible] 石山の [illegible] 十三町 [illegible] 山の名物あゝ [illegible] 野田 [illegible]
○勝 [illegible] 山の [illegible] 名ゝ山の [illegible] 祭礼の時山ゝ [illegible] 沖佐を [illegible]
の名ゝ○右は城あり○ゝん場 [illegible] 川 [illegible] 右ゝ [illegible] 湾
ゝ[illegible] 田の浦 [illegible] 山 [illegible] 山ゝ [illegible] 坂 [illegible]

○松本山道とゝ打出のゝ [illegible] 右は中町 [illegible]
町 [illegible] ゝ [illegible] 石場 [illegible] 矢ゝ [illegible] 丹付 [illegible]
やゝ [illegible] 舟 [illegible] ゝ [illegible] 小 [illegible] 名 [illegible]

大津 京

三里

同 治六年

なる 百六十九文
かゝ原 百十七
人ゝく 八十二文

○れの辻右は三井寺とゝ坂 [illegible] ○八町坂
○れの方は [illegible] 関の清水ゝ [illegible] 坂
[illegible] 中は [illegible] の [illegible] 山の神八蜘丸なりとゝ [illegible]
せゝ丸のる [illegible] 祝 [illegible] 欲の [illegible] 出れ [illegible] 省 [illegible] ○大 [illegible]

右の池の川汁ヶ淵盤○走井茶屋○大ぎやうの
○茅ヶ町○逢坂山たかつきの○こぞ○六地蔵堂
山ゝ内○十禅寺○比の宮小川右ハ法勝寺
○山科藪の下たぢこ谷右ハ小関越三ねるの
越東海道ハ又ハ東山道ハ出る○御廟野天智天皇の御陵ハ○日の
宮ゝと三条の○うぐひす懐○あわゞ○栗田口
○御軍塚山の上ハ○右の方東福寺永観堂若王寺
麓ハ岩倉田川黒谷真如堂加茂上京へ行ハ
ゝと岩海ハ○左の方生蓮院御門跡ハ

○白川橋あと一条ハ白川ハ流れ橋の つゝみハ新院さまの法華
なゝめ行ハ○なゝめ通れ行ハ東ハ
寺ハ墓所八坂霊山大佛をゝて新ハ墨の
方の祇社佛閣ハ外ハ花園奥ハ
○三条橋長サ六十ハ余ハ小川ハ川のあゞ
ハ三条地と二条御城ハ十五町ハ橋のひゞ
高ハ多ハ橋の上ハ右ハ北山二条ハ橋ハ
又東の橋大佛なゝめ行ハ

○元江戸日本橋より東海道宿場
合・百弐拾六里十五町九弐間也
本高弐千弐百七拾弐石
合 六貫弐百七拾弐文
かくれなる合 江戸弐百九拾四文
人足賃 合 三貫弐百七拾九文 内

△江戸市ゟ伊勢山田迄道筋
江戸市 かんだ 二里 百十二文 ゟ七十二文
かんだ ゟ 赤羽 一里半 六十四文 江戸
赤羽 ゟ うのゝ 一里半 卒四文 江戸

○ちどり村 右に記者寄ゆえ
うのゝ ゟ 浦へ 二里半 七十二文 江戸
○浦 ゟ 一ちんでんとゝ 一白家のる事 ○て村 むくりこへ
浦 ゟ 二りづゝ 七十文 五十九文
ゟ 二りづゝ 七十文
ゟ 二りづゝ 七十六文 卒四文
ゟ 二りづゝ 百卒文 百卒文
○此宿より〜ゟ川出 ○六ん家 ○月ゟ
ゟ 松ざか ゟ おだこへ 江戸
○暮ゟ 城ゟ 右の方町中 二田まるへめ ○て田村 家
大きさ川 橋 ○えこの川 橋 ○新宮村 ○たりゑ
○ゟ ゟ 家やとゝ ゟ 山へ ゟ

・あけの[illegible]　あ[illegible]いの方に大仏山といふあり　つぐ[illegible]橋
・[illegible]　山田へ　[illegible]そり　一　百[illegible]七丈　廿六間
・[illegible]川あり　[illegible]せ山西へ　[illegible]の[illegible]
・山田。中小路町　[illegible]　[illegible]。上京町。中の[illegible]。八百[illegible]。[illegible]
[illegible]町　山田　[illegible]。[illegible]月[illegible]。上鍛冶[illegible]
下ら町の中ほど　横ら[illegible]へ　[illegible]門ふ[illegible]
[illegible]あ[illegible]の[illegible]
一
〈[illegible]の[illegible]京を木曽海道宿次
・日本橋か　板橋へ　二り　・板橋か　[illegible]へ　一[illegible]
・つぎか　[illegible]へ　一[illegible]　・[illegible]へ　一[illegible]

[illegible]か　大[illegible]へ　一[illegible]
・あけとか　あけ川へ　一り　・大[illegible]か　あけ[illegible]へ　二り
・あけ川か　[illegible]へ　二り　・[illegible]か　[illegible]へ　三り
・[illegible]か　[illegible]へ　四り　・[illegible]か　[illegible]へ　二り
・[illegible]か　[illegible]へ　二り　・[illegible]か　[illegible]へ　一り
・[illegible]か　[illegible]へ　一り　・[illegible]か　[illegible]へ　一り
・[illegible]か　[illegible]へ　二り　・[illegible]か　[illegible]へ　三り
・[illegible]か　[illegible]へ　一り　・[illegible]か　[illegible]へ　一り
・[illegible]か　[illegible]へ　一り　・[illegible]か　[illegible]へ　一り
・[illegible]か　[illegible]へ　一り　・[illegible]か　[illegible]へ　一り
・[illegible]か　[illegible]へ　一り　・[illegible]か　[illegible]へ　一り
・[illegible]か　[illegible]へ　一り　・[illegible]か　[illegible]へ　一り

・あつたか　あつたぶへ　一りす
・すてぶくか　下のさと　みやさと　二り
・おやぢか　せぜへ　二り
・ちとせか　あべ川へ　二り
・ゆのくぬか　やごゑへ　一りす
・えんぜうか　あくぼへ　一りと八丁
・うへれか　まちへ　三りと九丁
・のぢりか　ちとせの　二りす
・うまこか　まごめへ　二り
・わち合か　中ぢへ　一り
・あくぬか　大らぢへ　三りす
・ちとけか　三り
・あくとか　ちく田へ　二り
・うねまか　うのへ　四りと八丁
・うりとか　ちへ　一りと六丁
・あつぢか　たるぬへ　一りと十二丁
・せんぶゑか　いまづへ　一り
・かへゑか　さあぐぬへ　一りす
・ぢんぢか　ちりとへ　一り
・ちるこか　あち川へ　二り
・あちさか　りりこへ　三りす
・ちとぢか　大ぢへ　三りと十二丁
・やとぢか　ちとけか　三り
・あくとか　ちく田へ　二り
・うねまか　うのへ　四りと八丁
・うりとか　ちへ　一りと六丁
・あつぢか　たるぬへ　一りと十二丁
・せんぶゑか　いまづへ　一り
・かへゑか　さあぐぬへ　一りす
・ぢんぢか　ちりとへ　一り
・ちるこか　あち川へ　二り
・あちさか　りりこへ　三りす
・ちとぢか　大ぢへ　三りと十二丁

△江戸から京まで中仙道馬次 宿場ハ赤字ニ成

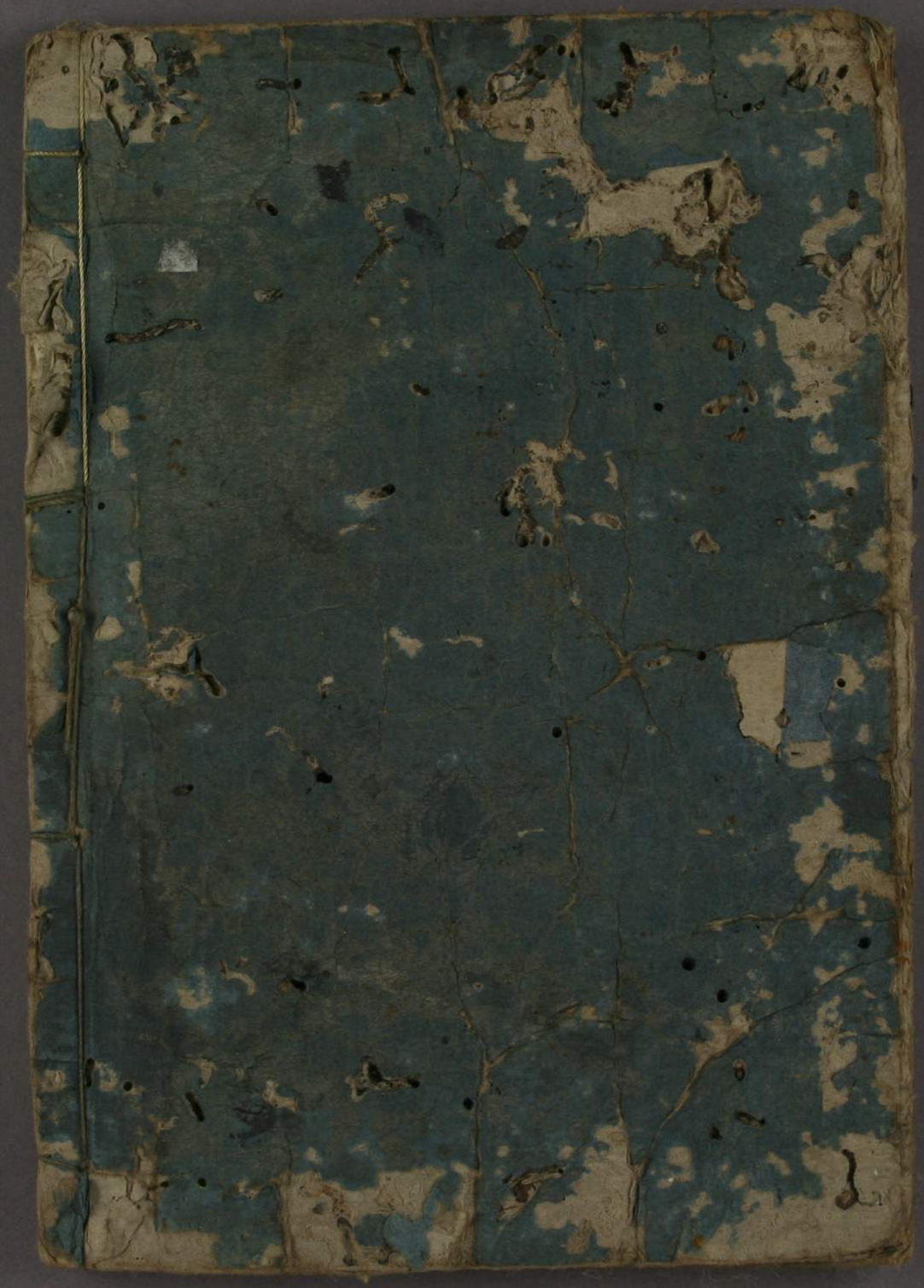
・すゝか から おかべ へ 一り半
・さかへ から いかだ へ 一り半
・たべつか から おごゝ へ 一り
・あめまつ へ 二り
・大ぐれ へ 二り
・たかふね から 草津 へ 一り半
・いまづ から うゝ へ 京 へ 一り半
・さめがゐ から だんご へ 一り半
・ちりとり へ 一り半
・京 から むさ へ 二り半
・りり山 から 名古屋 へ 三り半

・大津 から 京まで 三つ道

△大津より大坂までの道次

・大津 から ゆもと へ 一り
・ゆもと から ゆゝし へ 三り十丁
・ゆゝし から ほりと へ 一り
・ほりと から ふづと へ 一り
・ふづと から ひらかた へ 二り
・ひらかた から なにわ へ 一り
・なにわ から 大坂 へ 二り

延享四年卯正月吉日

大傳馬三町目
鍵形屋孫兵衛 開板

武江書林